

## INFORMATION

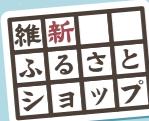
### 今度の夏服、いかがですか

いよいよ夏本番、当館アテンダントの夏服が新しくなりました!

当館イメージカラーで落ち着いた市松模様のワンピースと、目に鮮やかな可愛らしい帽子。はじける笑顔でお客様をお出迎えいたします。



●歴代アテンダントの夏服…どちらがお好みですか?



### 開店2周年記念 大島紬ストール展 初開催

1300年の歴史を持つ鹿児島の特産品、大島紬。その歴史と魅力を紹介する“彩る大島紬ストール展”を開催します。サマーストールなど期間限定商品がずらり。この機会をお見逃しなく。  
詳しくは同封のチラシをご覧ください。



## 温故地新

ふる故きを温ね、地元を新たに。

### ■維新ふるさと館、頑張る。鹿児島をPR

「キリンの9つの工場から47都道府県の一番搾り」のキャンペーンCMに出演し、人気グループ「嵐」のリーダー大野君に、ビデオレターを送りました。鹿児島の郷土愛が詰まったCMになったようです。撮影は、当館内と甲突川にかかる南洲橋上で行われました。



●鹿児島はやはり西郷さん

### ■中学生、頑張る

職場体験は「働く」を考える初めての機会。今年度前半の職場体験を受け入れました。今回は、6校12名の中学生が当館へ。展示物の案内など、積極的にする姿も見受けられ、とても有意義な職場体験になった様子でした。



●当館PRチラシの発送作業

### ■盲導犬70頭余り、頑張る

5月下旬、「全日本盲導犬使用者の会」の皆さん75名が盲導犬を帯同して来館。当館スタッフも少々緊張して迎えましたが、ドラマ上演や館内展示などを楽しんで退館されました。

盲導犬70頭余りの黙々と働く仕事ぶりには、来館中の皆さんも感心していました。



●多くの盲導犬の入館は初めて

### 第九回 西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展

西郷が没した9月24日からの30日間、書をこよなく愛した西郷隆盛の偉業や人徳をしのんで同書道展を開催します。県外からの応募も増え、毎年1,500点あまりの作品が館内を飾るこの催しも今年で9回目。皆さまのお越しをお待ちしています。

#### 作品展示期間

平成28年9月24日(土)～10月23日(日)  
9:00～17:00

#### 小学生から一般の方まで、作品を募集しています。

募集要項等詳細は、  
当館公式ホームページをご覧ください。

▶ <http://ishinfurusatokan.info/>

明治維新を分かりやすく、楽しく

# ISHIN 維新

### 下加治屋町郷中の修練場に建つ 「元帥公爵大山巖誕生之地」碑



大山巖誕生地(鹿児島市加治屋町) 画 / 大園 康広



加治屋町にある鹿児島中央高校の場所は、かつて鹿児島第一女子高等学校があった所である。昭和10年、昭和天皇鹿児島行幸の際に行在所となったところで、正門に入ったところに「大本營跡」の碑も建っている。正面校舎の丸い部分が天皇の部屋であり、その面影を残す。

加治屋町の中央を貫く柿元寺通りは、天皇行幸を記念して「御幸通り」といわれるようになった。この天皇行幸に間に合うよう御幸通りを挟んだ反対側にあった大山家の屋敷跡に、島津家30代忠重公の揮毫による「元帥公爵大山巖誕生之地」の碑が建てられた。

大山巖は初代陸軍大臣であり、以後歴代内閣で長年陸軍大臣を務め、特に日露戦争では、乃木希典、野津道貫などを部下とし、満州国総司令官として功をなした陸軍の重鎮である。

明治3年、国歌「君が代」の歌詞を作曲者フェントン(英)に提示したのも大山であった。その後に

楽曲は変わったが、「君が代」の歌詞はそのまま使用されたのである。

70数戸の下級武士が住む下加治屋町郷中にあっては、大山家の屋敷は他の2倍の広さであったため、屋敷内には相撲場もあり、従兄弟の西郷はじめ郷中仲間の修練の場となっていた。大山は槍や砲術、相撲は指南級という豪傑で、屋敷からは修練の声や音が響いていたといいう。

大山巖は、吉井友実の娘の沢子と結婚したが先立たれ、戊辰戦争の怨念を引きずる世相の中、後妻として会津の名家出身の美人才女「山川捨松」と結婚し話題となった。

華やかな道を歩いた大山巖ではあったが、西南戦争では従兄弟である西郷と袂を分かち、官軍の砲隊司令長官として城山を攻め、西郷を自刃に追い込んだことから、以後、鹿児島の地を踏むことはなかった。大山は大正5年、西郷への思慕を胸にいだきつつ75歳で没し、西郷従道と購入開拓した栃木県西那須野に家族とともに眠っている。

(文/福田賢治維新ふるさと館特別顧問)

## 維新ふるさと館情報紙

[No.18]

■平成28年(2016年)夏季号  
■発行:鹿児島市維新ふるさと館  
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号  
TEL.099-239-7700/FAX.099-239-7800  
<http://www.ishinfurusatokan.info>



## 維新ふるさと館周辺 偉人・史跡地図を新しくしました

観光客のみなさんからよく聞かれるのが当館(加治屋町)周辺の史跡の所在地です。

初めて散策する観光客でも迷わず巡ることができるよう、このたび、周辺偉人・史跡地図を新しくしました。これまでよりカラーで地図も説明文も見やすくなりました。

よく質問のある第2代総理大臣の「黒田清隆」誕生地、「安藤照」誕生地も追記、18か所の偉人、史跡を紹介しています。これを見れば加治屋町周辺からたくさんの偉人が輩出されており、当館周辺がなぜ「維新のまち」といわれるか、納得です。

多くの偉人を輩出した加治屋町周辺。明治維新150年を前に今一度、このマップをもって、史跡めぐりをしてみませんか。新たな発見があるかもしれません。

また当館の公式ホームページでは「かごしま維新の歩き方」のタイトルで、幕末の薩摩や明治維新を支えた偉人たちの姿を追いかけながら鹿児島の街を探索できるよう3つのコースを紹介しています。こちらもぜひご利用ください。

ホームページからダウンロードできます。ご活用ください。  
当館公式ホームページ  
<http://ishinfurusatokan.info/>

### 館周辺の探訪にもってこいですね!



観光ボランティア歴5年以上  
彌栄博光さん

土日祝に維新ふるさと館入り口で観光客などのおもてなしをしています。よく質問されるのが「西郷隆盛誕生地」や「大久保利通生い立ちの地」の場所。

大山巣、東郷平八郎などコアな歴史ファンも多く、偉人の看板を熱心にみている人を見かけるので、こういうマップがあれば便利。ご案内するときにも使えるのでありがたいですね。



### もっと詳しく知りたい方必見! 「もっと知ろうよ 維新のまち」

鹿児島市が発行しているこの冊子は当館特別顧問と歴史解説員が監修し、40人余りの英傑を紹介。一人ひとりの生い立ち、業績が詳しくまとめられています。やさしい言葉で解説されていて、大変分かりやすいと好評です。

当館で配布しています。ぜひこちらもご覧ください。



●観光客にも大好評

### 歴史講座「薩摩と琉球」 維新体感ホールで開講



今年度、第1回目の維新ふるさと館歴史講座を6月26日(日)、27日(月)に開催しました。

講師は、当館顧問の福田賢治、テーマは「薩摩と琉球」、半世紀にわたる薩摩と琉球の関係など詳しく解説しました。当館初めてのテーマに興味が高かったのか、280名余りの方がご応募、抽選の結果224名の方に受講していただきました。今回は、少しでも多くの方に受講していただきため、27日(月)は維新体感ホールでの講座となりました。



講座の案内を毎回楽しみにしています。福田先生も肥後先生も知識が豊富で、引き込まれていきます。今回の「薩摩と琉球」については、深く知らなかつたので、楽しく聞かせていただきました。

毎回楽しみです



高橋 國廣さん

当館の歴史講座は「分かりやすさ」で好評です。特別に歴史が好きというわけではない方も、受講してみてください。歴史好きになること、請け合いで。

### 出かけてみませんか



黎明館 開催中~9/11(日)

「幕末薩摩外交  
—情報収集の担い手たち—」

尚古集成館 7/16(土)~9/15(木)

「明治日本の  
産業革命遺産と鹿児島」

薩摩藩英国留学生記念館

開催中~10/24(月)  
「GODAI…バイタリティーの男  
—薩摩スチューデントから  
大阪の恩人へ—」

今回の  
イチオシ

大久保利通の一一番古い日記といわれている、嘉永元年元旦(一八四八年二月五日)から十一月までの日記です。大久保は当時十九歳で記録

所書役助、西郷は三十二歳で下加治屋郷中の二才頭でした。日記によると、大久保が西郷が隆盛の名前を記しているのは四ヵ所です。

西郷とは八歳くらいからの付き合いだったた

いう大久保実妹三人の思い出話とは違つて、ここに記されているのは「西郷が相撲見物に

来ていた、長沼嘉兵衛の家に行ったら西郷が

二才頭でした。日記によると、大久保が西郷が

隆盛の名前を記しているのは四ヵ所です。

嘉永元年元旦(一八四八年二月五日)から十一月までの日記です。大久保は当時十九歳で記録

所書役助、西郷は三十二歳で下加治屋郷中の二才頭でした。日記によると、大久保が西郷が

隆盛の名前を記しているのは四ヵ所です。

西郷とは八歳くらいからの付き合いだったた

いう大久保実妹三人の思い出話とは違つて、ここに記されているのは「西郷が相撲見物に

来ていた、長沼嘉兵衛の家に行ったら西郷が

二才頭でした。日記によると、大久保が西郷が

隆盛の名前を記しているのは四ヵ所です。

西郷とは八歳くらいからの付き合いだったた

いう大久保実妹三人の思い出話とは違つて、ここに記されているのは「西郷が相撲見物に

来ていた、長沼嘉兵衛の家に行ったら西郷